

活動概要

保育園・高齢者施設での読み聞かせボランティア

近隣の保育園3ヶ所を訪問し、パネルシアターや紙芝居の上演、絵本の読み聞かせ、手遊び歌、交流会などを行っています。



活動の目的・志など

物語の力と異世代交流で笑顔に♡



最近、共働き家庭が増えているせいか、家でなかなかゆっくり絵本を読んでもらえていない子どもたちが少なくないようです。そんな子どもたちに少しでも多くの絵本やお話に出会ってもらいたいと思いながら活動しています。高齢者の方々からは、名作大型絵本を読んだ時に、「タイトルは知っていたけれど内容はよく知らなかった。とても良い話だと知れて嬉しい」と言っていただきました。これからもそんな機会を提供していきたいと思っています。

また、保育園の先生方からは、「高校生のお兄さんお姉さんが来てくれると、子どもたちに良い刺激になる」「(訪問日は)子どもたちが朝から楽しみにしている」と言っていただいたことがあります。高齢者施設の職員の方からは、「若い人が来てくれると利用者さんが元気になる」とも言われました。私たちにとっても、普段あまり接する機会のない年齢の方々とは接することは、よい刺激になり、勉強にもなります。

物語と一緒に味わいながら交流することで、みんなが笑顔になれたらいいなと思います。

活動団体プロフィール

平成28年秋の公開文化祭において、図書委員会が古本市とあわせてお話し会を行ったことが活動の始まり。そこで練習したことを外部でのボランティア活動につなげようと働きかけ、保育園2ヶ所からスタートした。

その後図書委員以外の有志のメンバーも加わり、現在は、昼間主・夜間主コースの1～3年次生 11名で活動中。訪問先も徐々に増えて現在は3ヶ所。練習や準備は毎週月・木の夕方に図書館で行っている。

コース毎に授業の時間帯が異なっていたり、アルバイトや部活や生徒会を掛け持ちしているメンバーも少なくないため、全員一緒に練習できる時間は短いですが、協力し調整し合って活動している。

保育園・高齢者施設訪問回数(過去5年)

令和元年度	30回
令和2年度	16回
令和3年度	10回
令和4年度	8回
令和5年度	16回



図書館で練習

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

読み聞かせ会でふれあいを

近隣の保育園3ヶ所に毎月それぞれ1～2回訪問し、読み聞かせ会を開いています。

保育園では、パネルシアターや紙芝居の上演、大型を含む絵本の読み聞かせ、手遊び、季節の歌を歌う、などの活動をしています。あわせて、折り紙やペーパークラフトやバルーンアートなどで作品を作って持って行き、プレゼントすることもあります。



ボランティアメンバーの声

- ・読み聞かせを通して子供や大人にも優しい人になりたいです。
 - ・この活動を通して、絵本の読み上げ方や子ども達との関わり方を楽しみながら学んでいきたいなと思います!
 - ・自分と違う年齢の人と関わっていく中で、コミュニケーション能力を育てていきたいです。
 - ・大きい紙芝居は自分も子供達も楽しめます。
- さまざまな絵本を知る機会を増やしてたくさん読んであげたいです!

その他の活動

平成29年度	図書館や公開文化祭の古本市の場に「絵本のポスト」を設置し、家庭で不要になった絵本の寄付を呼び掛けた。集まった絵本を、韓国の孤児院「共生園」へ、メッセージカードを添えて寄贈した。(後日、御礼として韓国語の絵本が送られてきたので、いつか翻訳して読み聞かせの際に使ってみたい)	
平成30年度	福島県郡山市の高齢者大学「あさかの学園大学」に依頼され、大学主催の「いきいきふれあいの集い」(於:市民文化センター)にて、メンバーの2名が、集い全体の司会を務めた。また、代表者1名が読み聞かせ活動をもとにした提言発表を行った。	

受賞・参加歴

平成29・30年度	ボランティア・スピリット賞 コミュニティ賞
平成30年度	郡山市民活動推進顕彰事業 まちづくりハーモニー賞 青少年部門
令和元～5年度	高校生ボランティアアワード 2019～2023
令和3年度	ソロプチミスト日本財団学生ボランティア賞

今後の展望・夢など

Happiness～夢と元気を届けよう～

本や物語の力で子ども達に夢を、高齢者の方々に元気を届けることを目標に、読み聞かせの技術を磨きながら、今後も活動を続けていきたいと思っています。

